

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名（株式会社中部テクノ通信）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30様式改定】

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 （県などの取得証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			小規模な事業所ではありますが、困ったことや不安なことがあった場合には、誰でも気軽に相談できる雰囲気づくりを大切にしています。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			日常のコミュニケーションを大切にし、誰もが安心して働ける職場環境づくりに取り組んでいます。 特に、取締役自身が子育てをしながら働いている経験から、家庭や個人の事情に配慮しながら仕事ができるよう、互いに思いやりを持った関係づくりを心がけています。 ハラスメントの兆候を見逃さないように注意し、何かあればすぐに相談・対応できる体制を整えています。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			電気工事は現場の状況によって時間が前後することありますが、作業計画を事前に立て、効率的に作業が終わるよう工夫しています。 また、無理な残業や休日出勤は行わず、家族との時間やプライベートも大切にできるよう心がけています。								8.5 8.8									
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			当社では現在、外国人労働者の雇用はありません。 そのため差別や人権侵害は発生していませんが、国籍に関わらず、すべての人が尊重される職場環境づくりを大切にしています。				4.4			8.7 8.8		10.2 10.3								
5 人権・労働	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			当社では、作業中の事故を防ぐために、安全で衛生的な労働環境づくりに力を入れています。 具体的には、社員や作業員に対して定期的に安全講習や教育を実施し、最新の安全ルールや注意点を共有しています。 また、作業現場では安全器具の使用や適切な作業手順の徹底を図り、事故防止に努めています。			3					8									
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			労働者のメンタルヘルス対策は十分とは言えませんが、社員が安心して働ける環境づくりのため、今後改善に取り組んでいきたいと考えています。 具体的には、相談窓口の設置やストレスチェックの導入など、社内体制の整備を検討しています。			3														
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			当社では、多様な人材が安心して働ける職場を目指し、それぞれの立場や考えを理解できるよう、日頃から話を聞く環境づくりに取り組んでいます。 性別や年齢、国籍、障がいの有無に関わらず、一人ひとりが活躍できる職場づくりを大切にしています。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			当社では、従業員の能力向上を目的に、適切な教育訓練や研修の機会を定期的に提供しています。 現場で必要な技術や知識を身につけられるよう、社内外の講習や資格取得支援も積極的に行っています。				4	5.5			8	9								

9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本		当社は、正社員やパート・アルバイトなどの雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金の原則を大切にしています。 仕事内容や責任に応じて公正に評価し、適切な賃金を支払うよう努めています。					5.5		8.5		10.2 10.3						
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ		当社では、従業員の健康管理を重要視しており、定期的な健康診断を実施しています。 健康な職場環境づくりを通じて、生産性の向上や社員の働きやすさの改善に取り組んでいます。			3				8								
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本		当社では廃棄物の適切な管理に努めており、オフィスや作業場でのゴミの分別を徹底しています。 また、資源の有効活用として裏紙の再利用も積極的に行い、廃棄物の削減に取り組んでいます。									11.6	12.4		14.1			
12	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本		当社では、自社のエネルギー使用量を把握するため、特にエアコンの消費電力量を見える化できるように設定しています。 これにより、エネルギーの無駄遣いを減らし、温室効果ガス排出の削減に努めています。							7.3					13			
13	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本		自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量削減に向けた取り組みを進めています。 具体的には、省エネ型の機器導入やエアコンの使用管理の徹底、照明のLED化などにより電力消費を抑えています。 また、電気自動車(EV)充電器の設置を通じて、地域のEV普及を支援し、ガソリン車からの切り替え促進によるCO ₂ 削減にも貢献しています。							7.2 7.3			12.4	13.3				
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	【非該当】	使用していません			3.9			6.3				11.6	12.4				

カ テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
5	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			当社の事業活動が自然環境や生態系に悪影響を及ぼさないよう、現場での廃棄物管理や騒音・振動の抑制に努めています。 また、工事箇所周辺の環境状況に注意を払い、必要に応じて専門家の指導を仰ぐなど、生物多様性への配慮を心がけています。						6.6								15				
6	【3 Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			廃棄物削減と資源の有効活用を目指し、リデュース、リユース、リサイクルに積極的に取り組んでいます。 具体的には、工具などの中古品を活用することで、資源の再利用を促進しています。											12.5		14.1					
7	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			事務所や作業場での節水を徹底し、効率的な利用を目指しています。						6.4 6.6												
8 環 境	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ		【予定】					3.9			6	7					12	13.3	14	15		
9	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ			環境への取り組み内容を正確に把握し、関係者に対して適切に情報開示を行っています。 今後も透明性を重視し、環境負荷の削減に向けた取り組みを積極的に発信していきます。												12.6						
10	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ		【予定】	当社では再生可能エネルギーの活用に取り組んでいます。 事務所や作業場での電力使用において、太陽光発電の導入や再生可能エネルギー由来の電力利用を検討・推進しています。								7.2					13					
11	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ		【予定】														12.2	13	14	15		
12	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			汚職や贈収賄を固く禁止する方針を掲げ、全社員に対してその内容を周知徹底しています。 公正な取引を守り、誠実な経営を心がけています。																16 16.5		
13	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			している																	16	
14	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			取り組んでいる									8.2 8.3	9								
15 公 正 な 事 業 慣 行	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			当社では個人情報の適切な管理に努めており、重要な書類や情報は鍵のついた引き出しで保管しています。 また、従業員に対して個人情報保護の教育を行い、情報の漏えいや不正利用を防止しています。																16		
16	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ		【予定】																		16	
17	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ			定期的なコミュニケーションや教育を通じて、サプライチェーン全体で持続可能な経営を推進しています。					5			8		10		12	13	14	15	16	17	
18	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本			当社は中小企業庁が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表し、地域の企業や関係者と協力して持続可能なまちづくりや経済発展に取り組んでいます。 今後も連携を深め、共に成長していける関係づくりを推進していきます。			3					8	9	10							17	

41	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ			当社はCSRの考えに基づき、企業活動が社会や環境に与える影響を常に意識し、責任ある対応を行っています。 社内研修では、食品ロス削減の一環として規格外野菜を活用した取り組みを紹介し、全社員の意識向上に努めています。 環境保護や地域貢献、安全衛生の確保など、多方面で持続可能な社会の実現に向けて取り組んでいます。														16
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ			計画に基づき、定期的な見直しや訓練を実施し、緊急時の迅速な対応を可能にしています。							9		11		13 13.1			16
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ		【予定】								8	9						17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定